

# 全国医学生新歓企画 第2回みんフェス in 熱海 ～ 民医連ってなんだろう～

2019年6月22日(土)～23日(日)、「全国新歓企画」第2回MIN-IREN FESTIVAL (みんフェス)が静岡県のホテルニューアカオで開催されました。全国から、学生、職員合わせて約150名が集まり、宮城からは学生7名、医師1名が参加しました。

この企画は、1年生を対象に、民医連ってなんだろう?ということを知ってもらうという目的で開催されています。①社会に目を向け自分の医師像について考えよう②学生生活について知り、大学生生活の過ごし方を考えよう③民医連について学びながら、全国に仲間をつくろうという獲得目標を掲げ、全国の医学生が一体となって学びあいました。

1日目の学習講演では、宇都宮協立病院の武井大医師より「私と民医連」として、武井医師の民医連との出会い、学生時代に会った忘れられない患者さんについて、総合医・家庭医としての社会との関わり方などについてご講演いただき、学生時代にするべきこととして自ら進んでボランティアや実習に行くこと、しなやかさを身に着けるために沢山チャレンジして失敗すること、大学での学びと学外での学びの両立を目指すことなどが話されました。

2日目は、参加した職員一人ひとりが持っている民医連実践を、学生が聞いて回るというスタンプラリー形式の「民医連あつめ」という企画があり、「坂総合病院での手遅れ死亡事例」「原発関連労働者の被ばく検診」「歴史からいのちを考える～韓国での学び」について学生に紹介しました。

参加した1年生からは、「民医連を知ることが出来た」「夏休みに民医連の現場で実習してみたいと思った」「次回の医学生生のつどいにも参加したい」などの感想があり、奨学生活動を通して学びに繋がったと実感することができました。



宮城からの参加者



熱海の街でスタンプラリー

次回のつどいは「SDH (健康の社会的決定要因) × 貧困」をテーマに、**9月28-29日三重県で開催されます!!**

坂総合病院医学生だより

# 坂坂

〈発行〉  
坂総合病院  
医学生と共に歩む委員会  
連絡先・塩釜市緑町16-5  
☎ 022-367-9007  
2019年9月1日  
No. 84



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より  
過去の坂坂がご覧になれます。

## 教えて！～坂総合病院職場紹介～

病院では、様々な職種が活躍しています。今回は在宅医療室・診療サービス課の職場紹介です。

### 在宅医療室の紹介

「こんにちは～  
坂病院の往診です！おじゃまします」

地域の患者さんの家又は入居施設に訪問して、診療、処方など行っている在宅科の紹介をしたいと思います。

さて、最初のごあいさつ。大体いつも発しているセンテンスですが、よく吟味すると、間違いがあります。

①在宅科の拠点、在宅医療室があるのは、坂病院ではなく、坂総合クリニックです。患者さんが馴染みのある病院の名を語っています…(笑)



②定期的にご自宅や入居先に伺うのは、往診ではなく、訪問診療です。これとも言った方がわかりやすく、口馴染みもよいため、ずーと昔(100年前～)から使用しているのです。

\*夏冬春休みと限らず、学生の皆さん実習に来てみてください。  
坂総合クリニック1階受付窓口奥です。

### 診療サービス課

皆さんは医療事務と聞いたときにどのような仕事をイメージするでしょうか？

私たち診療サービス課(一般的には医事課と呼ぶ)では、医療事務として様々な業務を担当しています。当院では請求部門と診療情報管理部門に分かれています。

請求部門では病院の顔として窓口立ち受付・会計したり、入院している患者さんのお会計を計算したり、病棟の運営について診療報酬データからアプローチしたりと幅広い知識が求められます。診療情報管理部門では診療情報に関する専門業務を担当しており、カルテの管理や診療統計の作成、診療実績データの登録、患者さんからのカルテの閲覧・コピーの対応など病院内での医療情報の核となっています。

研修医と接する機会も多く、研修医の勉強会の講師として診療報酬や病名登録の仕方をレクチャーしたり、学会等の発表で用いる統計基礎データを抽出したり、事務手続き上不安なところの相談に乗ったりと、多忙な診療業務を影ながらサポートしていますので、不安な点があれば一緒に考え、悩み、成長していきましょう。



## 教えて！先生！



医師を目指す者の心構えや、知っておかなければならない倫理観があったら教えてください。

Yes or Noではなく、患者によって一人ひとり背景が違うので、極端にはならないことが大事です。相手の背景を踏まえて考えられるようになるのと良いと思います。



英語の必要性(外国人の患者に対して英語で対応するか)についてどう思いますか。

英語は本当に必要だと感じています。医師の勉強に必要なのは、英語論文だと思っています。(英語論文には最新のことが書いてあるため)また、外来に来られる外国の患者も増えています。



次回の坂坂の発行は11月の予定です。

坂坂で読んでみたい記事はございませんか？今月は別紙のアンケート付きです。医師やコメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなどぜひ、こちらまでご意見をお寄せください！

[igakusei@miyagi-min.com](mailto:igakusei@miyagi-min.com)

# 女性医師と語る会

## JOY CAFE

6月14日(金)に、毎年恒例の東北大学、東北医科薬科大学の女子学生対象の女性医師と語る会を開催いたしました。

参加者は、東北大学3名(2年生1名、1年生2名)、東北医科薬科大学6名(4年生2名、2年生1名、1年生3名)でした。坂総合病院から、産婦人科の松山由有子医師、総合診療科の本郷舞依医師、1年目研修医の小林千紗医師、同じく1年目研修医の杉田千鶴子医師の4名が参加し、学生と懇談しました。



先生方からは、学生時代に自身がどう過ごしていたのかということや、女性医師としての働き方について、結婚・子育てについて、休日の過ごし方など、多岐に渡る内容について懇談しました。

学生からの、「どのようにして診療科を選んだのですか?」、「女性医師の働き方のイメージと、実際の現場での働き方の相違点を知りたいです」、「学生時代にしておいた方が良い点は何ですか?」などの質問にも、丁寧に答えていました。会場は、笑いがあふれとても賑やかでした。

参加した学生からは、「幅広い世代の先生方と交流することが出来て良かったです」、「ライブプランや毎日の生活など、不安に思っていたことを女性医師に聞いて本当に安心しました」、「将来、医師として働くモチベーションが上がりました」、「他大学の友人が出来て嬉しいです」、「来年も是非、参加したいです」などの感想があり、大変有意義な企画になりました。

医学生へのプレゼント  
宮城医歯連主催  
医学生向け  
ワークショップ

2019年 のご案内  
日時 9月20日 18:30-20:00  
TPOターゲティング カンパニースタッフ23C  
宮城医歯連会館(中央1-3-1) (アエル10階)

「症例検討会(仮)」  
講師: 本郷 舞依 医師  
小林 千紗 医師  
杉田 千鶴子 医師  
参加費: 無料 軽食もあります。

HPはQRコード又は、  
「医学生・研修医のひろば」で検索

9/20本郷舞依医師  
によるワークショップを  
開催します!



# 宮城被災地 フィールドワーク

5/12(日)に医学部新歓企画として東北大学、東北医科薬科大学、山形大学、北海道大学、札幌医科大学の医学生14名が集合し、宮城の被災地を巡りました。

## 山元いちご農園

東日本大震災の大津波によって塩害にあった土地を復興させた道のりを学び、おいしいいちごをいただいて交流を深めました。



## 旧荒浜小学校

地元のガイドの方から震災当時の様子や震災前と後の荒浜の風景の違い、現在進んでいる復興について説明していただきました。

震災から8年経って段々と忘れられていることも多い中で改めて当時の状況や人々の動きを知ることができたのは大きな学習になりました。

## 感想

石巻日日新聞社の『石巻ニューゼ』では、記者の方より被災当時の様子や地元紙として地域住民の目線でどんな活動をしてきたかについてお話ししていただきました。



## 日々新聞ニューゼ

## お昼ごはん



「海のパイナップル」と呼ばれているほやは新鮮でおいしい!

# 駿台予備校医師講演会

医療の現場から  
～医師を目指す皆さんへ～



講演中の様子



個別相談に応じる熊谷医師

6月17日(月)に駿台予備校仙台校で、1年目研修医の八尾祥吾医師を講師に医師講演を開催いたしました。参加者は、約70名でした。

八尾医師自身の浪人時代の勉強方法、浪人時代にしておくべきこと、医学部での6年間、研修医として働く今、医師を目指す予備校生にメッセージなど、多岐に渡るお話でした。特に、勉強方法については具体的に話をしており、皆熱心に聞いている様子がうかがえました。

講演後は、1年目研修医の熊谷優大医師からも、自身の浪人時代の経験を基に、参加者に対して激励のメッセージを送りました。その後は、個別相談として予備校生からの相談、質問に応じました。参加した予備校生からは、「医師に求められることは何ですか?」、「模試の復習は具体的にはどのように行っていましたか?」、「どうしてもプレッシャーが辛い時はどうすれば良いですか?」、「苦手科目の対策や日々の勉強で大切にしていたことはなんですか?」、「医師として地域医療についてどう考えていますか?」などの質問が出され、各先生方には一人ひとり丁寧に対応していました。個別相談には、16名の学生が参加し大いに盛り上がりました。研修医と話をする機会はないので、とても貴重な機会でしたとの声もありました。

## 八尾医師からメッセージ



### 医師を目指すみなさんへ

医師になってまず思ったことは責任重大であることです。患者さんや家族にとっては、研修医も10年目医師も同じ“お医者さん”であるため、自分の発する言葉に重みがあります。毎日とても忙しいですが、その分とてもやりがいを感じています。

医療の技術は進歩していますが、教科書のマニュアル通りにはいかず、知識だけがあっても通用しない場合もあります。背景を含め患者全体を見る能力が必要だと感じます。そういった意味でも医師は生涯勉強だと思います。

浪人中は精一杯勉強をして、大学では、その時にしか出来ない経験をたくさんして素敵な医師になってください。

# eレジフェア in 東京

5月26日（日）に、東京ドームシティプリズムホールにて開催された研修病院合同説明会“eレジフェア2019 in 東京”に出展してきました。このイベントには全国から約1,000人の医学生が集まりました。今回は船山由有子医師、菅野昌晃医師、桑嶋理沙医師、八尾祥吾医師が参加し55名の医学生とお話することができました。説明会では「人気病院と聞いて来ました」、「セミナーで〇〇先生のこと知っています」という声が聞こえました。また、宮城で研修を考えている学生さんが多く、今後の繋がりに大いに期待のできる説明会となりました。



# レジナビフェア in 東京



6月23日（日）に、東京幕張メッセで行われた 研修病院合同説明会“レジナビフェア 2019 in 東京”に出展してきました。藤原大医師、菅野耀介医師、早川晃司医師、網師本健佑医師、小林千紗医師が参加し、27人の学生とお話しをすることができました。今回の説明会は5年生の訪問が多く、また、春休みに見学に来た学生が顔を出してくれたり今後の繋がりに期待がもてる説明会となりました。

次回出展する研修病院説明会は、

**10/6(日)レジナビフェア in 仙台、10/13(日)e レジフェア in 福岡** です。

ぜひ、初期研修のお話を聞いてみませんか。会場でお待ちしております！

## 【坂総合病院の初期研修プログラム】の紹介

・プライマリケアを重視し、基礎的総合力の獲得を目指した初期研修プログラムです。最大の特徴は呼吸器・循環器・消化器の内科を3か月ずつじっくりと回り、**Common Disease**を幅広く経験する内科研修と、通年の訪問診療に加え、仙台市北部にある小規模病院で3か月地域医療の最前線で基礎力を磨く地域医療研修です。指導医の多くは当院での研修後に外部専門機関で専門研修を受け、共通する指導基盤と高い専門性を両立しています。また、入院患者さんの「**担当医**」として診療にあたります。

導入研修	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	消化器科			外科			呼吸器科			小児科			循環器科			産婦人科	救急科	精神科	選択科 ※1	地域医療			終了研修	
	訪問診療 ※2			看護師と共に訪問診療を担う																				
	当直 ※2			ウォークインで来院する患者さんへの診療を担う																				
救急 ※2			救急車で来院する患者さんへの診療を担う																					
一般外来 ※3	ローテート中の3ヵ月、外来診療も担う						ローテート中の3ヵ月、外来診療も担う																	

※1；2年目の選択科は、自由に科を選べます。※2；最初主に上級医が診療を行い、段階を踏んで主体的に診療を行う。※3；ローテート各科において一般外来研修を通年で行う。